

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	端山園	代表者	山内幸雄	法人・事業所の特徴 平成27年 きょうと福祉人材育成認証の取得。 リガーレグループとの連携による各種研修への参加、伝達研修の実施。 プリセプターシップの導入。毎月1回木曜、コーヒーサロン、コンサート等実施、地域の方の参加あり。 秋祭りを開催し地域の方に参加してもらっている。
事業所名	栗栖野の家	管理者	田中雅憲	

出席者(人)	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計(人)
	0	0	2	0	0	1	0	2	0	5

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	前回に引き続き、あまりできていないのをチェックが減るように問題点をフロア会議等を通じて取り組む。	あまりできていないのチェックが増えている。1年通して改善できるように問題点を会議などで取り組んでいく。	どうすればあまりできていないチェックが減らす事ができるか会議で検討することが大事である。	事業所自己評価を常に点検できるように、フロア会議に活用していく。
B. 事業所のしつらえ・環境	道路に面して設置してあるポストを活用して、地域にアピールできるように検討する。	地域にアピールするしつらえは出来なかった。事業所内のテーブルの配置を変更するなど利用者の過ごしやすしい変更はできた。	栗栖野の家を地域へアピールすることは大事なので是非取り組んでもらいたい。	利用者が過ごしやすしいや清掃等の環境にも力をいれていきたい。引き続き、地域へアピールすることを検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	保育園との交流を継続し、地域の行事参加することで地域とのかかわりを持つ。今年度行えなかった介護保険の説明会の開催を行う。	保育園との交流は良好だが、地域行事の参加は出来ず、介護保険の説明会もできなかった。	保育園との交流は継続することは大事なので続けてほしい。地域行事の参加はもっと積極的になってほしい。	引き続き保育園との交流は行い、地域行事の参加で地域との関わりを持ち、ライブやコーヒーサロンへのPRを行い、地域との交流を深めていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域行事に参加して、利用者が地域に根ざした暮らしをできるように取り組んでいく。	地域行事に参加することが出来ずに地域に出向いて暮らしを支えることは出来なかった。外食レクや散歩などのレクは行えている。	地域行事への参加に取り組んでほしい。色々なレクの企画は良いのもっとアイデアを出し合ってほしい。	地域行事に参加し、地域と共に暮らす生活に取り組んでいく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	引き続き、運営推進会議での意見を活用できるように取り組んでいく。	会議で話題になる地域へのアピールについては具体的な案を検討できなかった。	会議内で発言した意見は、その都度検討してもらっていることは良いので続けてほしい。	運営推進会議での意見を全て活用できるように取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	まずは、地域の防災訓練に参加する。	地域の防災訓練に参加する予定だったが、準備不足で不参加となる。	事業所内の避難訓練は、毎月実施できているのは良い。やはり、地域防災訓練の参加が望ましい。	地域防災訓練の参加が前回出来なかった為、今回も引き続き計画する。